



協定を締結した青澤主管支店長(左)と太田市長

安心して暮らせる地域づくりに ヤマト運輸(株)と見守り協定を締結

市とヤマト運輸株式会社成田主管支店は8月5日、高齢者や障がい者が安心して生活できる地域づくりを目的に、「高齢者等あんしん見守りネットワーク事業に関する協定」を締結しました。

この協定は、同社が日常業務で高齢者や障がい者の異変を発見した場合、市へ速やかに連絡し、高齢者などの適切な支援につなげるという内容です。同日行われた協定締結式で、同社の青澤勇主管支店長は、「ヤマトグループのネットワークを生かして、少子高齢化という社会課題の解決に取り組んでいきたい」と話していました。

各地の火をつなぎ東京へ パラ聖火リレー“聖火フェス”

パラリンピック聖火リレーの「千葉県聖火フェスティバル」が8月18日に行われ、パラリンピック聖火のもととなる“千葉県の火”をつくる「集火式」と、その火を聖火ランナーがつなぎ東京都へと送り出す「点火セレモニー」と「出立式」が行われました。

本市では、7月25日に行われた伝統行事・駒真似祭でのお焚き上げの火を種火として事前に採取し、フェスティバル当日には市役所玄関前で行った「採火式」においてこの種火を活用して“匝瑳市の火”をとりました。この火は集火式会場の市原市へと運ばれ、県内各市町村から持ち寄られた火と合わさることで千葉県の火となりました。

その後、中止となったリレー走行の代替セレモニーが千葉市内で行われ、本市在住の日色昭浩さん(上谷



パラ聖火トーチを携えて手を振る
聖火ランナーの日色さん

中)ら聖火ランナー130人が、千葉県の火をトーチからトーチへと移す「トーチキス」でつなぎました。最終的に聖火皿へともされた千葉県の火は、開催都市の東京都へ送り出されました。



意気込みを示した熱田さん(左)と太田市長

千葉県代表として意気込み 八日市場VEGASC・熱田さん、全国大会出場

匝瑳市近隣で活動する卓球クラブ「八日市場VEGASC」に所属する熱田恒夫さん(今泉)が、「2021年全国日本卓球選手権大会(マスターズの部)」への出場報告のため10月4日、太田市長を表敬訪問しました。

熱田さんは競技種別「個人戦男子ハイシックススティ(65歳以上)」に出場。6月6日に開催された県大会で優勝し、全国大会への出場権を獲得しました。個人戦で全国大会に出場するのは初めての熱田さん。「県の代表として、一生懸命頑張ってきます」と意気込みを語りました。

※全日本卓球選手権大会は10月8日～10日に福島県で開催され、熱田さんはベスト16と健闘しました。

叙位

◆正六位

越川正巳（八辺）

昭和26年に吉田村立吉田中学校の教壇に立って以来、八街町立笹引小学校長、八日市場市立第一中学校長などを歴任。41年の長きにわたり児童生徒の教育に尽力し、学校教育および教育の振興に寄与されました。

（令和3年8月16日逝去）



表彰

◆全国防犯協会連合会表彰

▽防犯栄誉・金章

大川信雄（八日市場イ）

防犯指導員として昭和51年に委嘱を受けて以来、青色防犯パトロール、防犯灯の点検などの防犯活動に尽力。小学生の下校時には、自転車で自主的に通学路のパトロールを行い、児童の安全確保に努めるなど犯罪防止に貢献されています。

◆千葉県防犯協会表彰

▽防犯功労者

小関泉二（川辺）

▽防犯功労団体

匝瑳市防犯協会中央第2支部

※敬称略。



平木・岡田さんが最優秀賞 読売防犯川柳コンテスト



一般部門で最優秀賞を受賞した岡田さん



チャレンジ部門で奨励賞を受賞した伊藤さん（左）と佐久間さん

防犯をテーマとした「第17回読売防犯川柳コンテスト」（全国読売防犯協会、読売新聞社主催）が行われ、一般部門で岡田陽子さん（平木）の作品が、応募総数6846句の中から最優秀賞に選ばれました。受賞した岡田さんは「心にゆとりを持つのが、楽しい川柳を詠むコツ。他界した夫との日常を詠んだ句なので、夫にも感謝を伝えたいです」と喜びを語りました。

また、小・中学生を対象としたチャレンジ部門（応募総数2901句）では、野栄中学校1年・伊藤春翔さんと、同・佐久間瑚粋さんの作品が奨励賞を受賞しました。

◆作品の紹介

▶岡田陽子さん作「留守電に 接待まかせ ティータイム」▶伊藤春翔さん作「強盗を するぐらいなら 働こう」▶佐久間瑚粋さん作「菓子一個 かるい気持ちで 重い罪」

投稿写真館



No.57

星に願いを天の川

志賀正義さん（生尾）

「午後11時過ぎ、満天の星空の中に直立する天の川が広がった。宇宙の広がりを感じた」

撮影場所：銚子市

60年以上かけ、見事開花 10mを超すリュウゼツラン

平和地区荻野の川口京子さんの自宅で、数十年かけて成長し、一度だけ花を咲かせたのちに枯死してしまう大型常緑多年草リュウゼツランが開花しました。

10m以上に成長したリュウゼツランは、苗を植えてから60年以上が経過。7月中旬からひと月ほど鮮やかな淡黄色の花を咲かせました。川口さんは「うれしい反面、枯れてしまうのが残念。咲いたのが見れてよかったです」と話していました。



川口さん宅で開花したリュウゼツラン（提供写真）